

令和2年度第1回日向市立地適正化計画策定委員会議事録

1. 日時 : 令和2年11月5日(木) 10:00 ~ 11:40
場所 : 日向商工会議所

2. 出席者

学識経験者

出口近士、桑野斉、山内利秋

行政機関

鮫島裕子、森英彦

その他委員

清水邦彦、三浦雅典、鳩山政秀、三輪勝広、瀬戸口潤子

事務局

日向市建設部長 古谷政幸

日向市建設部都市政策課 松葉進一、野崎暖生、黒木尚子

3. 議案の内容

立地適正化の概要と策定スケジュール

日向市立地適正化計画(素案)

4. 審議の経過及び結果

経過 : 議事録のとおり

結果 : 議事録のとおり

事務局	<p>1. 開会</p> <p>定刻になりましたので、「令和2年度第1回日向市立地適正化計画策定委員会」を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、本日の会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の進行を務めます、日向市都市政策課の松葉でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>お手元にお配りしております次第に沿って、会を進行させていただきます。</p> <p>本日は、コロナ感染予防のため、窓を開けて会議を開催させていただきますので、ご了承下さい。</p> <p>開催にあたり、委員の出席状況について、ご報告させていただきます。</p> <p>本日は、日向農業協同組合の奈須委員、九州鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部の中村委員、宮崎県タクシー協会日向支部の飯沼委員、一般社団法人日向市東臼杵郡医師会の國延委員の4名の委員からご欠席とのご報告を受けております。</p>
事務局	<p>2. 委員紹介</p> <p>続きまして、委員紹介に移らせていただきますが、ご紹介につきましては、会次第の裏に記載しております委員名簿を持って代えさせていただきます。</p> <p>なお、本年4月の人事異動によりまして、今年度より、日向保健所所長の鮫島裕子様と日向土木事務所長の森英彦様が、新たに委員にご就任いただいております。</p> <p>お二方につきましては、本来であれば、個々に委嘱状を交付させていただくところではございますが、事前配布にて委嘱状の交付に変えさせていただきたいと存じますので、ご査収くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、新たに委員になられましたお二方に、お一言ずつご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(新委員あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本年4月の異動により、事務局のメンバーも変更がありましたので、自己紹介をさせていただきます。</p> <p>(古谷部長、松葉、野崎、黒木の順で自己紹介)</p>
事務局	<p>3. 委員長あいさつ</p> <p>続きまして、委員長より、ごあいさつを頂きたいと存じます。出口委員長、よろしくお願いいたします。</p> <p>(議長挨拶)</p>

委員長	<p>都市生活や、居住、経済活動などをうまく調和させ、都市計画に活かすのが立地適正化計画の本筋かと思えます。</p> <p>本日は皆様方の専門的な立場から日向市立地適正化計画を吟味していただき、また、忌憚のないご意見によって、より良いものにしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>4. 議題</p> <p>それでは、これから会議に入りますが、これからの進行につきましては、設置規程に基づき、出口委員長にお願い致します。</p>
委員長	<p>それでは、議題に入りたいと思います。</p> <p>(1)の立地適正化計画の概要と策定スケジュール及び防災指針モデル都市について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明（事務局）</p>
委員長	<p>ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>本年6月の法改正で、新たに立地適正化計画に位置づける必要の生じた「防災指針」について、市の防災計画等との関連性を伺いたい。</p>
事務局	<p>地域防災計画などに記載している防災対策の中から「コンパクト+ネットワーク」型の都市構造構築に必要な対策を選択し、記載していく予定としています。</p>
委員	<p>各地区での地区防災計画の策定の進捗状況を伺いたい。</p>
事務局	<p>地区防災計画については、関係部局からは、策定の取組を行っているところではあるが進捗が遅れている、と聞いています。</p>
委員長	<p>それでは、続いて(2)の立地適正計画（素案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明（第1章～第2章）</p>
委員	<p>P70の空家空地の状況について、細島や財光寺に多くの空家が見受けられる状況との整理であるが、空家比率で比較すると細島10%、富高3.5%、財光寺1.86%であることから、空家空地の状況についての記載内容を再検討</p>

	<p>していただきたい。</p>
事務局	<p>再度内容を精査します。</p>
委員	<p>都市機能誘導区域や居住誘導区域など、本計画では“誘導”がキーワードだが、あえて居住推進区域とした理由を伺いたい。</p> <p>また、居住誘導区域内に都市機能誘導区域があるのが基本的な考え方と思うが、本計画においては都市機能誘導区域（中心市街地）を設定し、その後に居住推進区域を設定することとなっている。区域設定の考え方について伺いたい。本来なら、安全である居住推進区域を設定し、その中で都市機能誘導区域を設定する順序であると考えているが如何か。</p>
事務局	<p>昨年からの策定委員会において、“誘導”という言葉が強制的に誘導するようなイメージを与えかねない、との意見がありました。また、他市町においては、名称を変更している事例もあることから、より緩やかに誘導する意味合いを事務局で検討し、居住推進区域の名称を用いることとしたところです。</p> <p>区域設定については、昨年の委員会で居住推進区域を設定して都市機能誘導区域を設定する案を示したところ、日向市の中心（顔）であることから、まず日向市中心を都市機能誘導区域として設定し、その後に居住推進区域を設定する方向性を検討するよう意見があったことから、事務局で検討し、当該区域設定の考え方（ステップ）としています。</p>
事務局	<p>細島地区で空家が多い理由としては、市街化区域であっても家が建築できない場所が多いためである。</p> <p>細島地区の山手部分については、本計画の居住推進区域に含まれているので、家が建築できるような施策等の検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>市では美々津地区や細島地区の空家の所有者に対して調査を行っており、結果として、家が建築できない、空家をどうにかしたい等の意見がありましたが、課題としては接道となっています。</p> <p>現在、空家対策推進室を中心に解決策の検討を行っており、まとめ次第、地元へお示ししたいと考えています。</p>
委員	<p>P96 平岩地区の都市機能誘導区域設定について、病院の表記を再度確認していただきたい。また、同一ページ内での記載内容の統一を図っていただきたい。</p>
事務局	<p>記載内容については、主管課に確認し、適切な表現に修正します。</p>

委員長	それでは、引き続き（２）の立地適正計画（素案）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	説明（第３章～第４章）
委員	P101 誘導施設の定義について、記載の統一を図っていただきたい。
事務局	確認し、統一を図ります。
委員	公民館内に設置されている図書室なども図書館に含める形で検討してもよいと思う。
事務局	主管課と協議し、含める方向で整理します。
委員長	P111 居住推進区域内への居住推進について、開発行為や建築行為の届出の周知は P118 のとおり行われることと思うが、加えて、洪水浸水区域や津波浸水区域においては条例などで重要事項説明を義務付けることを検討していただきたい。
事務局	現在、津波災害警戒区域の指定がなされていないことから、重要事項説明の義務はないところではありますが、義務化について検討させていただきます。
委員	P111 で既存住宅の高台などへの移転促進とのことだが、安全な居住推進区域内にありながら高台への移転促進は矛盾するのではと思われるが、住民への説明はどのように行うのか伺いたい。
事務局	主に中原地区のことを想定しているもので、当該地区は以前から慢性的な内水被害があり、地元から区画整理の要望が寄せられています。 市としても抜本的な対策として区画整理が効果的であると考えております。 令和２年度の改正都市再生特別措置法で洪水浸水区域の宅地嵩上げ費用が補助対象となったところであるが、20ha 以上 1000 棟以上などの厳しい条件であります。この条件については、国の防災タスクフォースに確認したところ、面積要件は津波浸水想定区域でも可能とのことでありましたので、事業化を目指して検討していきたいと考えおり、区画整理事業の円滑な推進に向けて、駒地を確保するために、市の起債や単費を活用して高台への移転促進を行うことを想定して記載しているものです。
委員	P119 居住推進区域内の人口密度について、現状値は最新値（2020）を使用

	していただきたい。
事務局	現表記は国勢調査の最新値（2015）を使用しておりますので、今年度の国勢調査結果もしくは市が公表している最新値を用いて算定したいと思います。
委員	P119 都市機能誘導施設の数について、都市に必要な機能を維持し、足りない都市機能を誘導する考え方であるかと思う。当該表記では誤解される恐れがあるため、公共施設マネジメント計画との整合を図り、施設数と機能を分離する目標指数とするなど、検討を加えていただきたい。
事務局	検討します。
委員	P119 都市機能誘導に係る目標指数について、住民の健康増進のための遊歩道や散歩コースなどを目標指数に加えていただくよう検討をお願いしたい。
事務局	検討します。
委員	<p>P110 防災意識の向上について、P111 の同項目のように内容の充実を図っていただきたい。</p> <p>また、P119 目標値については、人口減少の中にあっても、せめて維持もしくは微増を目指す目標値であることを説明した方が、理解度が高いように思われる。</p> <p>市民バスの利用者についても、人口減少する中で実際は、何%減少するが、対策を実施することにより、下がり幅が抑制され、この目標値としたなどのわかりやすい表現が望ましい。</p>
事務局	検討し内容を充実させます。
委員長	<p>5. その他</p> <p>それでは、本日予定していた議題を全て終了しましたので、進行を事務局にお返します。円滑なる議事運営にご協力いただきありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして「令和2年度 第1回日向市立地適正化計画策定委員会」を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>6. 閉会</p>